

第12期「まちづくり大学」グループワークの議事録

福祉・介護班 ファシリテーター (手島宏子) (橋本 巖)

参加者	向井 章・高林忠晃・川井千代子・川田千恵子・丸山芳子
	須山美智子・岡 和子
	進行役 (向井 章) 発表役 (高林忠晃)

提案者	活動テーマ	取組み方法
	高齢者対象の食事会に多くの人に参加してほしい	根気よく声をかけて誘う
	こども食堂への取組み	子供たちと料理を通じて関わる
	地区の行事に参加しない人が多いから参加してほしい	口コミで参加者を増やす
	集会所の活用方法	高齢者が気軽に参加できるイベントを増やす
話合いの概要	<p>地域でボランティア活動をされている方が多く、身近な悩みを話し合っていたので共感を覚えた。</p> <p>同じような悩みを抱えてる方々の意見交換の場があればと思う。</p>	

<p>発表内容</p>	<p>発表者は市職員 1 年生で若かったから高齢社会の今後を理解しつつ発表していました。 小さいころ祖父母から叱ってくれたこと多かったですが、今の社会では叱ったり怒ったりすることが子供の反感をかってるから、やり難い世の中になっている。 子どもたちを地域で見守り育てていかなければならない。 高齢者社会に対する取り組み方はこれからの大きな問題です。 高齢者にはイベント等により多くの方が足を運んでもらって、毎日が楽しい日であることを願っています。</p>
<p>感想</p>	<p>参加された皆さん方は真剣に高齢社会について話し合っていました。 自分のことだけではなく、みんなが楽しく幸せになって欲しい思いは参加された方は共通していました。</p>
<p>その他感想記入</p>	
<p>講座を振り返っての意見・感想として</p> <p>まち大全般について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後自分が取り組んでいくにあたって、いろんなことを判断する際の材料になった。 2. 施設の見学が良かった。 3. いろんな方と知り合えて良かった。 4. 早速、ゴミ減量に取り組んでいます。 	